

戦略3 世界をリードする最先端研究拠点の形成・強化

取組1 新物質の創成と応用を目的とした超高压物質科学の推進

愛媛大学の研究機能強化の重点施策として、平成27年度にリサーチユニットに認定した、地球深部ダイナミクス研究センター・理学部・工学部に跨がる横断的な研究組織「超高压材料科学研究ユニット」を軸に、従来の地球科学的研究にとどまらない、新たな超高压科学研究拠点の形成を目指します。その第一段階として、超高压合成法を活用した新物質開発とその特性評価、応用に関する学際的共同研究体制の構築と環境整備を行います。

関連する中期計画

本学の強みである、地球深部ダイナミクス研究センター（GRC）、沿岸環境科学研究センター、プロテオサイエンスセンターにおける研究活動を充実させ、全国的な共同研究拠点となるための重点的な支援を行い、先端研究センターにおいては、第2期中期目標期間後半より共同研究数、研究分野で定評のあるハイインパクトジャーナルへの掲載数を10%以上増加させるとともに、プロテオ創薬研究分野では、研究推進の鍵となるヒトタンパク質の全数合成を達成する。

超高压関連分野での新しい機能性物質の創成と応用に取り組むことを目的に、GRC・理学部・工学部の超高压関連分野の教員の連携により、10人以上の人員を集積させた超高压新物質創成分野を組織化する。